

事務事業実績測定調査

事務事業名称	各種スポーツ大会等開催事業											
測定年度	2020(R2)年度			部	観光にぎわい部			課	スポーツ振興課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4				
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち										
	施策目標	6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち										
	実行計画名	6-2.健康づくりの推進										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	不明		年度	~	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称					サンセット
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	各種大会、イベントに参加する各種スポーツ競技者及び競技者となる可能性がある人			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	競技者にとって活動の目標が少なくなる。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	各大会に参加する市民の健康維持、体力増進を図られ、スポーツ活動が活発になった状態。				
事業概要	<p>市民のスポーツ振興を図るため、各種スポーツ大会やレクリエーション事業等を実施し、市民の健康維持・体力増進とスポーツ活動をより活発にすることを目的として、下記事業を実施する。</p> <p>①各種競技大会(総合体育大会等)の運営を公益財団法人枚方体育協会に委託し、実施。 ②市内高校バレーボール大会を実施し、同競技の振興と青少年の健全育成を図る。 ③ラグビーカーニバルを公益財団法人枚方体育協会に委託して実施。</p>				

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		各種スポーツ競技者等の市民は、大会・イベントを目標として継続的に活動しやすくなる。				各種スポーツ競技者等の市民は、大会やイベントに参加する。				各種スポーツ大会、イベントを開催する。			
指標設定	指標説明	令和元年度を基準とした参加者数増減率				各種大会参加者数				実施回数			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	0	▲ 2.50	▲ 5	▲ 7.50	22,000	21,500	21,000	20,500	10	10	10	10
	実績	▲ 74				5,800				2			
	達成度	26%				26%				20%			
	分析	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、各種スポーツ大会が中止となったため、令和元年度と比較し大幅減となった。				令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、多くのスポーツ大会が中止となったことから、大会参加者数も減少となった。				令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、スポーツ大会が中止となった。			

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.40
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.03
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の person 費については、人員配置をもとに平均 person 費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「person 費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員 person 費」「臨時職員 person 費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は person 費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	3,976	5,612	3,190		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	100	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	3,976	5,712	3,190		
	物件費計	32,625	35,111	29,201	36,955	79%	
	歳出計	36,601	40,823	32,391			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	0	0	0	0		
	一般財源	36,601	40,823	29,201	36,955		

5. 総括的分析

総括的分析	令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、多くの各種スポーツ大会が相次ぎ中止となった。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	アフターコロナを見据え、オンラインでのイベント開催方法も含めて検討していく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	市民スポーツカーニバル開催事業													
測定年度	2020(R2)年度				部	観光にぎわい部				課	スポーツ振興課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち											
	施策目標		6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち											
	実行計画名		6-2.健康づくりの推進											
1. 事務事業の概要														
種類	市民サービス			特性	選択的事业				区分	一般事務事業				
事業期間	1983(S58)年度				年度	~			年度まで					
根拠法令等	スポーツ基本法、決裁													
関係補助金名称									サンセット	~				
関係附属機関名称														
事業対象	メインターゲット		体力向上や健康増進に興味がある人、普段特定の施設しか利用しない人											
	サブターゲット													
	ターゲットが抱える課題		体力向上や健康増進の方法に触れる機会が不足する。											
	ターゲットが抱える課題													
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	イベントをきっかけとして、参加者の意識が改善し、体力向上や健康増進の取り組みを実施、継続している状態。													
事業概要	毎年体育の日に、市民の体力向上及び健康増進を図り、生涯スポーツの普及・振興及び市民相互の交流と親睦を促進するため気軽に参加できるスポーツイベントを開催することを目的に、各体育施設の指定管理者、体育協会、スポーツ推進委員協議会等様々な団体の協力を得て、総合スポーツセンター、渚市民体育館、伊加賀スポーツセンターで市民の体力向上と健康増進をはかるため、多彩なメニューを工夫して、多くの市民参加のもと事業を実施する。													
2. ロジックモデル及び指標設定														
ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
	参加がきっかけとなり、市民の健康維持、体力増進の取り組みが継続的に実施される。				体力向上や健康増進に興味がある市民が、スポーツカーニバルに参加する。				体育の日に指定管理者や各団体と連携して市民スポーツカーニバルを開催する。					
指標設定	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
	指標説明		事前申し込み制のイベント参加者の満足度【算出式:アンケートで「満足」または「やや満足」と回答する方/アンケート回答者全体の割合×100】				事前申し込みイベント参加者数				事前申し込みイベント数			
			単位		%		単位		人		単位		事業	
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)		70	70	70	70	105	105	105	105	3	3	3	3
	実績		0				0				0			
達成度		0%				0%				0%				
分析		市民スポーツを行うスポーツの日に、オリンピック・パラリンピック関連事業を実施予定であったが、令和3年度に延期となった。				市民スポーツを行うスポーツの日に、オリンピック・パラリンピック関連事業を実施予定であったが、令和3年度に延期となった。				市民スポーツを行うスポーツの日に、オリンピック・パラリンピック関連事業を実施予定であったが、令和3年度に延期となった。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	795	1,603	0	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	92	0	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	887	1,603	0	
	物件費計	146	12	0	3	—
	歳出計	1,033	1,615	0		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
一般財源		1,033	1,615	0	3	

5. 総括的分析

総括的分析	市民スポーツを行うスポーツの日に、オリンピック・パラリンピック関連事業を実施予定であったが、令和3年度に延期となった。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	アフターコロナを見据え、オンラインでのイベント開催方法も含めて検討していく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	総合スポーツセンター駐車場拡張事業													
測定年度	2020(R2)年度				部	観光にぎわい部				課	スポーツ振興課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち											
	施策目標		6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち											
	実行計画名													
1. 事務事業の概要														
種類	市民サービス			特性	選択的事業				区分	一般事務事業				
事業期間	2016(H28)年度				年度	~			年度まで					
根拠法令等	決裁													
関係補助金名称												サンセット	~	
関係附属機関名称														
事業対象	メインターゲット		自家用車で来る総合スポーツセンターの利用者											
	サブターゲット													
	ターゲットが抱える課題		施設の駐車場の容量が不足している。											
	ターゲットが抱える課題													
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	駐車場拡張によって、施設の駐車場不足が解消され、利用者が快適に施設利用できる状態。													
事業概要	総合スポーツセンター駐車場の容量不足の解消を図り、利用者ニーズに応えることを目的として、現在、臨時駐車場として利用している多目的運動広場用地について用地を買戻した上で第2駐車場として整備し、また、関西電力(株)から無償で借り受けた送電線下用地を臨時駐車場として整備する。													
2. ロジックモデル及び指標設定														
ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
	施設利用者が自家用車で来館しやすくなる。				総合スポーツセンターの駐車場不足が緩和する。				用地取得等を行い、駐車場を整備する。					
指標設定	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
	指標説明		施設全体の駐車場利用台数		駐車場満車日数		整備後における施設全体の駐車可能台数							
			単位	台	単位	日	単位	台						
	指標種類		増加することが良いとされる指標		減少することが良いとされる指標		増加することが良いとされる指標							
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)		90,000	89,500	89,000	88,500	3	3	3	3	348	348	348	348
実績		76,199				1				363				
達成度		85%				67%				104%				
分析		新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、施設を閉鎖していたため、目標値に達しなかった。				新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、施設を閉鎖していたこともあり、実績が少ない。				駐車場拡張により、施設の駐車場不足が解消につながった。				

3. 人員体制 (人)

	R2
正職員(再任用)	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	0	0	0	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	0	0	0	
	物件費計	0	0	0	0	—
	歳出計	0	0	0		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	0	0	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、開所期間が短く実績値は目標に達していない。 なお、平成31年4月1日より、有料駐車場として運用しており、駐車場稼働率が向上し、駐車場場所が必要な施設利用者への提供が促進されている。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、適切な運用を行っていく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	スポーツ推進事業												
測定年度	2020(R2)年度			部	観光にぎわい部				課	スポーツ振興課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち										
	施策目標		6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち										
	実行計画名		6-2.健康づくりの推進										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2016(H28)年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	スポーツ基本法、枚方市スポーツ推進審議会条例				
関係補助金名称					サンセット
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	ライフステージに応じて、様々なスポーツに取り組む人			
	サブターゲット	ライフステージに応じて、これから様々なスポーツに取り組もうとする人			
	ターゲットが抱える課題	生涯にわたって多種多様なスポーツを楽しめる環境づくりが求められている。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	誰もが生涯にわたってスポーツに親しめる環境がある状態。				
事業概要	だれもが生涯にわたってスポーツに親しみ、スポーツを通じて健康を増進し、人と人との交流を深めることを支えることを目的に、スポーツ基本法第10条に基づき、本市の実情に即したスポーツの推進に関する計画を策定し、体力づくりや健康増進とあわせて介護予防などに効果的なスポーツ振興に関する事業を総合的・計画的に推進する。 また、条例の規定に基づき、教育委員会の附属機関として枚方市スポーツ推進審議会を設置し、教育委員会の諮問に応じてスポーツ推進計画に関する答申を行うとともに、スポーツ推進計画の推進に関する事項やスポーツの推進に関する重要事項を調査審議する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		生涯にわたってスポーツに親しめる環境づくりにつながる。				計画や審議会の意見に基づき、スポーツ振興に関する事業を実施する。				審議会で各部署での取組を点検・評価する。			
指標設定	指標説明	答申に対して拡充や見直し等が図られた事業の割合 【算出式: 拡充等が図られた事業/答申を受けた事業数×100】				規模や手法の見直しや、新たな施策展開の答申を受けた事業数				進捗管理を行うのべ施策数			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	90	90	90	90	10	10	10	10	219	219	219	219
	実績	0				0				219			
	達成度	0%				0%				100%			
分析	令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、審議会を開催しなかった。				令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、審議会を開催しなかった。				令和元年度と同様の施策数の進捗管理を行った。				

3. 人員体制 (人)

	R2
正職員(再任用)	0.30
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.05
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の person 費については、人員配置をもとに平均 person 費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「person 費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員 person 費」「臨時職員 person 費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は person 費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	3,976	14,649	2,393		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	184	360	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
	人件費計	4,160	15,009	2,393			
	物件費計	433	1,229	10	347	3%	
	歳出計	4,593	16,238	2,403			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	67	1,000	0	0		
	歳入計	67	1,000	0	0		
一般財源		4,526	15,238	10	347		

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、審議会を開催することができなかった。体力づくりや健康増進とあわせて介護予防などに効果的なスポーツ振興に関し、オンラインなどコロナ禍でも行える事業を実施した。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、スポーツ推進計画の具体的施策に基づき、所管部署で実施した事業実績や今後の方向性について、スポーツ推進審議会にて点検・評価を行う。審議会の進め方について、より進捗管理のしやすい手法を検討する。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	サプリ村野スポーツセンター維持管理事業												
測定年度	2020(R2)年度				部	観光にぎわい部				課	スポーツ振興課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4					
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち										
	施策目標		17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち										
	実行計画名												

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務		
事業期間	2013(H25)年度		年度	～	年度まで		
根拠法令等	スポーツ基本法、枚方市立サプリ村野スポーツセンター条例、枚方市立サプリ村野スポーツセンター条例施行規則、枚方市立サプリ村野スポーツセンター使用料に関する規則						
関係補助金名称				サンセット	～		
関係附属機関名称							
事業対象	メインターゲット	サプリ村野スポーツセンターの利用者					
	サブターゲット						
	ターゲットが抱える課題	サプリ村野スポーツセンターの利用者が安全に利用できるよう環境整備されることが求められている。					
	ターゲットが抱える課題						
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	必要な施設保全や保守点検が行われ、利用者が安心安全快適に施設を利用できる状態。						
事業概要	サプリ村野スポーツセンターの維持管理し、この環境整備を通じてスポーツ振興を図ることを目的として、旧村野小学校跡を整備しリニューアルオープンしたサプリ村野スポーツセンター(運動広場、体育館、多目的体育室1～4)の管理運営を行い、生涯スポーツの活動の機会と場を提供することで、市民の健康の増進と体力の向上を図る。施設使用にかかる窓口業務等については、サプリ村野NPOセンターとあわせて、特定非営利活動法人ひらかた市民活動支援センターへ委託し、実施している。						

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
					サプリ村野スポーツセンターが適正に維持管理される。				必要な施設保全や保守点検を行う。					
指標設定	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
	指標説明				施設の不備等による事故件数				施設保全や保守点検に関する対応予定件数					
	単位				単位				単位					
	指標種類				減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)						0	0	0	0	9	9	9	9
	実績						0				9			
達成度				100%				100%						
分析				適切に保守点検等を行ったことから、施設の不備等事故件数は0件であった。				保全計画等に基づき、行った。						

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.70
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.05
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の person 費については、人員配置をもとに平均 person 費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「person 費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員 person 費」「臨時職員 person 費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は person 費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	3,559	3,642	5,273		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	92	100	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	3,651	3,742	5,273		
	物件費計	9,264	9,922	10,533	10,202	103%	
	歳出計	12,915	13,664	15,806			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	4,917	4,867	3,011	3,821		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	1	0		
	歳入計	4,917	4,867	3,012	3,821		
一般財源		7,998	8,797	7,521	6,381		

5. 総括的分析

総括的分析	施設保全や保守点検を適切に行った結果、施設の不備等による事故件数も0件であった。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き保全計画等に基づき、効果的・効率的な事業実施ができるよう適時モニタリングを実施し、適切に施設の維持管理を行っていく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	スポーツ少年団活動支援事業														
測定年度	2020(R2)年度				部	観光にぎわい部				課	スポーツ振興課				
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4							
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち													
	施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち													
	実行計画名	17-2.全ての市民のスポーツの普及と推進													
1. 事務事業の概要															
種類	市民サービス			特性	選択的事業				区分	一般事務事業					
事業期間	1963(S38)年度				年度	~				年度まで					
根拠法令等	スポーツ基本法、枚方市補助金等交付規則、決裁														
関係補助金名称	スポーツ少年団活動補助金							サンセット	2017(H29)年度		~	2019(R1)年度			
関係附属機関名称															
事業対象	メインターゲット	枚方市スポーツ少年団の各団体に所属する児童													
	サブターゲット	枚方市スポーツ少年団の各団体の指導者													
	ターゲットが抱える課題	子どもたちが日常的にスポーツに接する機会が不足する。													
	ターゲットが抱える課題														
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	スポーツ少年団の活動が活発になることにより、子どもがスポーツを楽しめる環境がより充実した状態。														
事業概要	少年にスポーツに接する機会を与え、より多くのスポーツを通じ身体的・精神的両面の健全育成に寄与することを目的として、スポーツ少年団活動がより活発となるよう支援を行う。少年団は、市内の3歳以上の団員10人以上と満20歳以上の指導者により構成される。														
2. ロジックモデル及び指標設定															
ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)						
	目標をもって継続的に多くの団員がスポーツを楽しむことができる。				支援を受けてスポーツ少年団の活動が活発となり、大会・イベントが開催される。				事業を行うスポーツ少年団に対して補助金を交付する。						
指標設定	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)						
	指標説明	令和元年度を基準とした登録団員数の増減率				大会・イベントの回数				補助金が交付されるスポーツ少年団を構成する種目数					
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標 (見込み)	▲ 1.50	▲ 3	▲ 4.50	▲ 6	11	11	11	11	6	6	6	6		
	実績	▲ 19				3				6					
	達成度	81%				27%				100%					
分析	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、大会等が中止となるなどにより団員数の減少となった。				新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、多くの大会等が中止となった。				昨年と同種目数となった。						

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.25
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.05
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	1,988	2,004	1,994		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	92	100	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	2,080	2,104	1,994		
	物件費計	250	250	17	250	7%	
	歳出計	2,330	2,354	2,011			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	0	0	0	0		
一般財源		2,330	2,354	17	250		

5. 総括的分析

総括的分析	適正な補助金を継続して交付することで、スポーツに触れる子どもたちの活動を支援できている。令和2年度については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、補助金の一部を精算した。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、対象事業を明確にした上でスポーツ少年団へ補助を行い、各団体の活動活発化を図る。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	スポーツ振興課所管体育施設維持管理事業												
測定年度	2020(R2)年度				部	観光にぎわい部				課	スポーツ振興課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4					
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち										
	施策目標		17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち										
	実行計画名												

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務		
事業期間	不明		年度	~	年度まで		
根拠法令等	スポーツ基本法、淀川河川敷グラウンドの貸出しに関する要綱、決裁						
関係補助金名称				サンセット	~		
関係附属機関名称							
事業対象	メインターゲット	淀川河川敷グラウンドの利用者					
	サブターゲット	ゲートボール場の利用者					
	ターゲットが抱える課題	日常的にスポーツを楽しめる場が不足している。					
	ターゲットが抱える課題						
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	必要な施設保全や保守点検が行われ、利用者が安心安全快適に施設を利用できる状態。						
事業概要	日常的にスポーツを行える施設を維持し、この環境整備を通じてスポーツの振興を図るため、淀川河川敷グラウンド(磯島・牧野)、ゲートボール場の維持管理を実施する。淀川河川敷グラウンドは、国の許可を得て、市民団体に貸し出しており、ゲートボール場は、施設ごとに使用者(地域団体)と協定を締結し、日常的な維持管理は使用者が行う。						

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル						淀川河川敷グラウンドやゲートボール場が適正に維持管理される。				必要な施設保全や保守点検を行う。			
指標設定	指標説明					施設の不備等による事故件数				施設保全や保守点検に関する対応予定件数			
	指標種類	単位				単位				単位			
	指標数値	R2 R3 R4 R5				減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	目標(見込み)					0 0 0 0				7 7 7 7			
	実績					0				6			
	達成度					100%				86%			
	分析					適切に保守点検等を行ったことから、施設の不備等事故件数は0件であった。				保全計画等に基づき、行った。			

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.40
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.03
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	1,590	1,603	2,881		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	1,590	1,603	2,881		
	物件費計	3,724	3,520	3,064	4,071	75%	
	歳出計	5,314	5,123	5,945			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	0	0	0	0		
	一般財源	5,314	5,123	3,064	4,071		

5. 総括的分析

総括的分析	施設保全や保守点検を適切に行った結果、施設の不備等による事故件数も0件であった。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き保全計画等に基づき、効果的・効率的な事業実施ができるよう適時モニタリングを実施し、適切に施設の維持管理を行っていく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	トップアスリートとのふれあい事業											
測定年度	2020(R2)年度			部	観光にぎわい部			課	スポーツ振興課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4				
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち										
	施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち										
	実行計画名	17-2.全ての市民のスポーツの普及と推進										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	不明		年度	~	年度まで
根拠法令等	枚方市スポーツ推進計画、決裁				
関係補助金名称				サンセット	~
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	これからスポーツに興味を持つまたは現在継続的にスポーツを実施している子ども。			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	市内でトップアスリートとふれあい、プレーを間近に見る機会が限られている。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	子どもたちがトップアスリートとふれあったり、トップレベルのプレーを間近に見る機会を多く持つことにより、スポーツへの関心を高め、スポーツを通じて夢を持った状態。				
事業概要	青少年の健全な育成、子どもたちにスポーツに対する関心を高めるとともに、子どもたちの夢を育むため、トップアスリートとのふれあい事業を実施する。他に市民スポーツ賞等の表彰等を行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)									
	子どもたちのスポーツに対する関心が高まるとともに、子どもたちの夢が育まれる。	子どもたちが、トップレベルのプレーを間近に見ることができる。	トップアスリートを招聘して子どもたちと触れ合う機会を作る。									
指標設定	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)									
	参加者満足度(アンケート調査)	参加人数	実施回数									
		単位	%	単位	人	単位	回					
	指標種類	増加することが良いとされる指標			増加することが良いとされる指標							
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5			
	目標(見込み)	0	80	80	80	0	200	200	200	0	2	2
実績	0				0				0			
達成度												
分析	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、事業実施ができなかった。			新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、事業実施ができなかった。			新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、事業実施ができなかった。					

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	1,590	1,603	0	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	1,590	1,603	0	
	物件費計	5,397	1,287	0	0	—
	歳出計	6,987	2,890	0		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	5,397	1,287	0	0	
	歳入計	5,397	1,287	0	0	
	一般財源	1,590	1,603	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、事業実施ができなかった。
-------	-----------------------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	コロナ禍でも、子どもたちがトップアスリートとふれあえるよう実施手法等を検討していく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	スポーツ推進委員関係事務													
測定年度	2020(R2)年度				部	観光にぎわい部				課	スポーツ振興課			
市長公約との関係	所信表明			市政運営方針	R2	R3			R4					
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち											
	施策目標		17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち											
	実行計画名		17-2.全ての市民のスポーツの普及と推進											

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務				区分	庶務的内部管理事務					
事業期間	1962(S37)年度				年度	~			年度まで				
根拠法令等	スポーツ基本法、枚方市スポーツ推進委員に関する規則、決裁												
関係補助金名称							サンセット	~					
関係附属機関名称													
事業対象	メインターゲット	各地域等を代表するスポーツ推進委員											
	サブターゲット												
	ターゲットが抱える課題	スポーツ推進委員による地域におけるスポーツ活動の活性化											
	ターゲットが抱える課題												
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	スポーツ推進委員が実施するスポーツイベント、情報提供、アドバイスにより地域住民がスポーツに親しみやすくなる。												
事業概要	市内45小学校区にスポーツ推進委員を委嘱し、社会体育の普及・振興を図り、地域社会の充実と発展を期することを目的として、スポーツ基本法に基づき委嘱されたスポーツ推進委員が地域住民のスポーツに関して指導助言を行い、生涯スポーツの普及振興を図っていく。												

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)					インプット (活動)				
ロジックモデル																
指標設定	指標説明															
	指標種類	単位					単位					単位				
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5			
	目標 (見込み)															
	実績															
	達成度															
分析																

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.25
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.05
特別職非常勤	46.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の person 費については、人員配置をもとに平均 person 費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「person 費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員 person 費」「臨時職員 person 費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は person 費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	1,988	2,004	1,994	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	5,547	5,468	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	7,535	7,472	1,994	
	物件費計	15	15	15	15	100%
歳出計		7,550	7,487	2,009		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
一般財源		7,550	7,487	15	15	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、学校開放や地域でのイベントの実施が限られる中、情報発信の見直しや今後の活動について検討を進めた。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、スポーツの機会を創出し、情報発信の内容見直しや活動について検討し、生涯スポーツの普及振興を図っていく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	伊加賀スポーツセンター維持管理事業										
測定年度	2020(R2)年度			部	観光にぎわい部			課	スポーツ振興課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4			
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち									
	施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2013(H25)年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	スポーツ基本法、枚方市立伊加賀スポーツセンター条例、枚方市立伊加賀スポーツセンター条例施行規則、枚方市立伊加賀スポーツセンター使用料に関する規則				
関係補助金名称				サンセット	~
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	伊加賀スポーツセンターの利用者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	伊加賀スポーツセンターの利用者が安全に利用できるよう環境整備されることが求められている。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	必要な施設保全や保守点検が行われ、利用者が安心安全快適に施設を利用できる状態。				
事業概要	伊加賀スポーツセンターの維持管理及びこれによるスポーツ振興を図ることを目的として、伊加賀スポーツセンターの指定管理者による効果的・効率的な管理運営を行うとともに、指定管理者が実施する各種スポーツ教室によるスポーツ機会を提供する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル						伊加賀スポーツセンターが適正に維持管理される。				必要な施設保全や保守点検を行う。			
指標設定	指標説明					施設の不備等による事故件数				施設保全や保守点検に関する対応予定件数			
	指標種類	単位				単位 件				単位 件			
	指標数値	減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標							
	目標 (見込み)	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績					0	0	0	0	3	3	3	3
	達成度					100%				67%			
分析					適切に保守点検等を行ったことから、施設の不備等事故件数は0件であった。				保全計画等に基づき実施した。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.70
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.05
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人員費	正職員、再任用、任期付	9,238	3,717	5,273		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	92	100	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人員費計	9,330	3,817	5,273		
	物件費計	69,362	38,366	42,821	43,249	99%	
	歳出計	78,692	42,183	48,094			
歳入	国庫支出金	0	1,011	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	25,767	1,520	1,520	1,518		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	25,767	2,531	1,520	1,518		
	一般財源	52,925	39,652	41,301	41,731		

5. 総括的分析

総括的分析	施設保全や保守点検を適切に行った結果、施設の不備等による事故件数も0件であった。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き保全計画等に基づき、効果的・効率的な事業実施ができるよう適時モニタリングを実施し、適切に施設の維持管理を行っていく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	野外活動センター利用促進事業													
測定年度	2020(R2)年度				部	観光にぎわい部				課	スポーツ振興課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち											
	施策目標		17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち											
	実行計画名		17-2.全ての市民のスポーツの普及と推進											
1. 事務事業の概要														
種類	市民サービス			特性	選択的事業				区分	一般事務事業				
事業期間	不明			年度	～				年度まで					
根拠法令等	スポーツ基本法、決裁													
関係補助金名称								サンセット	～					
関係附属機関名称														
事業対象	メインターゲット		学校キャンプを利用する小中学校の児童・生徒											
	サブターゲット													
	ターゲットが抱える課題		自然の中での体験学習の機会が不足する。											
	ターゲットが抱える課題													
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	学校キャンプの利用数が増え、利用した子どもたちが別の機会に施設利用することで、施設の活性化が図られ、より多くの青少年の健全育成が図られた状態。													
事業概要	野外活動センターの利用増を目指し、学校キャンプ(日帰り・宿泊)について、企画段階からサポートを行い、学校ニーズに対応した学校キャンプの促進を図る「学校キャンプ支援事業」を実施する。(平成26年度は試行。平成27年度から本格実施。)													
2. ロジックモデル及び指標設定														
ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
	利用者の子どもたちが別の機会に利用するなど、施設利用が底上げされ、施設の活性化が図られる。				支援を行った小中学校の児童・生徒が学校キャンプに参加する。				学校ニーズに対応した学校キャンプの支援を行う。					
指標設定	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
	指標説明		施設の市内小中学生等の利用者数(日帰り・宿泊)		支援した小学校数		小・中学校を対象としたバス配車件数							
	指標種類		増加することが良いとされる指標		増加することが良いとされる指標		増加することが良いとされる指標							
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)		6,510	6,510	6,510	6,510	18	18	18	18	23	23	23	23
	実績		2,712				16				18			
	達成度		42%				89%				78%			
分析		新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、施設の閉鎖、再開時も定員の2分の1に制限するなどにより、利用者が大幅に減少した。				新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、学校行事が中止となっていたため、学校キャンプの利用再開が10月からとなり、目標に達しなかった。				新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、学校行事が中止となっていたため、学校キャンプの利用再開が10月からとなり、目標に達しなかった。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	1.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.80
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	7,118	5,464	6,120		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	3,745	2,531	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	10,863	7,995	6,120		
	物件費計	4,754	3,401	2,891	3,750	77%	
	歳出計	15,617	11,396	9,011			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	681	644	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	391	682		
	歳入計	681	644	391	682		
一般財源		14,936	10,752	2,500	3,068		

5. 総括的分析

総括的分析	4月～5月、12月～2月は施設閉所、6月は日帰りのみ再開、7月～9月は定員の2分の1で宿泊再開となり、10月～11月、3月は通常通り開所となった。 学校キャンプは学校行事が9月まで中止となっていたため、10月、11月に利用が集中した。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、より多くの学校に利用してもらえよう、野外活動センターの活動プログラムについて民間発想を取り入れるなど充実を図っていく。また、市内小中学校で利用してもらいことができるよう、施設のPR等、情報発信にも注力する。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	渚市民体育館維持管理事業											
測定年度	2020(R2)年度			部	観光にぎわい部			課	スポーツ振興課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4				
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち										
	施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち										
	実行計画名											

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務							
事業期間	2006(H18)年度			年度	~	年度まで						
根拠法令等	スポーツ基本法、枚方市公の施設における指定管理者の指定の手続等に関する条例、枚方市立市民体育館条例、枚方市立市民体育館条例施行規則、枚方市立市民体育館使用料に関する規則											
関係補助金名称	サンセット											~
関係附属機関名称												
事業対象	メインターゲット	渚市民体育館の利用者										
	サブターゲット											
	ターゲットが抱える課題	渚市民体育館の利用者が安全にできるよう環境整備されることが求められている。										
	ターゲットが抱える課題											
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	必要な施設保全や保守点検が行われ、利用者が安心安全快適に施設を利用できる状態。											
事業概要	渚市民体育館の維持管理及びこれによるスポーツ振興を図ることを目的に、渚市民体育館の指定管理者による効果的・効率的な管理運営を行うとともに、指定管理者が実施する各種スポーツ教室によるスポーツ機会を提供する。											

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル						渚市民体育館が適正に維持管理される。				必要な施設保全や保守点検を行う。			
指標設定	指標説明					施設の不備等による事故件数				施設保全や保守点検に関する対応予定件数			
	指標種類	単位				単位 件				単位 件			
	指標数値	減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標							
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	指標数値	目標 (見込み)				0	0	0	0	5	5	5	5
	指標数値	実績				0				4			
	達成度									80%			
分析					適切に保守点検等を行ったことから、施設の不備等事故件数は0件であった。				保全計画等に基づき実施した。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.70
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.05
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	9,238	3,717	5,273		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	92	100	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	9,330	3,817	5,273		
	物件費計	44,153	57,947	107,507	109,424	98%	
	歳出計	53,483	61,764	112,780			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	16,340	1,515	1,515	1,514		
	市債	0	0	0	44,900		
	その他	0	0	1	1		
	歳入計	16,340	1,515	1,516	46,415		
	一般財源	37,143	60,249	105,991	63,009		

5. 総括的分析

総括的分析	施設保全や保守点検を適切に行った結果、施設の不備等による事故件数も0件であった。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き保全計画等に基づき、効果的・効率的な事業実施ができるよう適時モニタリングを実施し、適切に施設の維持管理を行っていく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	総合スポーツセンター維持管理事業												
測定年度	2020 (R2) 年度				部	観光にぎわい部				課	スポーツ振興課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4					
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち										
	施策目標		17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち										
	実行計画名												

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務		
事業期間	2006 (H18) 年度		年度	～	年度まで		
根拠法令等	スポーツ基本法、枚方市公の施設における指定管理者の指定の手続等に関する条例、枚方市立総合スポーツセンター条例、枚方市立総合スポーツセンター条例施行規則、枚方市立総合スポーツセンター使用料に関する規則						
関係補助金名称				サンセット	～		
関係附属機関名称							
事業対象	メインターゲット	総合スポーツセンターの利用者					
	サブターゲット						
	ターゲットが抱える課題	総合スポーツセンターの利用者が安全に利用できるよう環境整備されることが求められている。					
	ターゲットが抱える課題						
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	必要な施設保全や保守点検が行われ、利用者が安心安全快適に施設を利用できる状態。						
事業概要	総合スポーツセンターの維持管理及びこれによるスポーツ振興を図ることを目的に、総合スポーツセンターの指定管理者による効果的・効率的な管理運営を行うとともに、指定管理者が実施する各種スポーツ教室によるスポーツ機会を提供する。						

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル						総合スポーツセンターが適正に維持管理される。				必要な施設保全や保守点検を行う。			
指標設定	指標説明					施設の不備等による事故件数				施設保全や保守点検に関する対応予定件数			
	指標種類	単位				単位 件				単位 件			
	指標数値	減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標							
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					0	0	0	0	8	8	8	8
	実績					0				8			
	達成度					100%				100%			
分析					適切に保守点検等を行ったことから、施設の不備等事故件数は0件であった。				保全計画等に基づき、実施した。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.70
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.05
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	9,238	3,717	5,273		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	92	100	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	9,330	3,817	5,273		
	物件費計	162,624	188,469	265,386	284,402	93%	
歳出計		171,954	192,286	270,659			
歳入	国庫支出金	0	0	924	1,010		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	38,319	1,952	1,956	1,955		
	市債	0	0	0	171,700		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	38,319	1,952	2,880	174,665		
一般財源		133,635	190,334	262,506	109,737		

5. 総括的分析

総括的分析	施設保全や保守点検を適切に行った結果、施設の不備等による事故件数も0件であった。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き保全計画等に基づき、効果的・効率的な事業実施ができるよう適時モニタリングを実施し、適切に施設の維持管理を行っていく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	東部公園野球場維持管理事業										
測定年度	2020(R2)年度			部	観光にぎわい部			課	スポーツ振興課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4			
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち									
	施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	不明		年度	~	年度まで
根拠法令等	スポーツ基本法、枚方市都市公園条例、枚方市都市公園条例施行規則、ひらかた東部スタジアム(東部公園野球場)運営に関する内規				
関係補助金名称				サンセット	~
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	東部公園野球場の利用者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	東部公園野球場の利用者が安全に利用できるよう環境整備されることが求められている。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	必要な施設保全や保守点検が行われ、利用者が安心安全快適に施設を利用できる状態。				
事業概要	野球場の不足に対応し、市民のスポーツ活動を支援することを目的として、硬式野球ができる野球場の整備や施設維持を行うとともに、管理運営に必要な備品について整備する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
ロジックモデル						東部公園野球場が適正に維持管理される。				必要な施設保全や保守点検を行う。			
指標設定	指標説明					施設の不備等による事故件数				施設保全や保守点検に関する対応予定件数			
	指標種類	単位				単位 件				単位 件			
	指標数値	減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標							
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	指標数値	目標(見込み)				0	0	0	0	4	4	4	4
	指標数値	実績				0				2			
達成度					100%				50%				
分析					適切に保守点検等を行ったことから、施設の不備等事故件数は0件であった。				保全計画等に基づき、実施した。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.30
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.05
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	1,287	2,113	2,083		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	92	100	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	1,379	2,213	2,083		
	物件費計	10,920	11,677	10,408	13,771	76%	
歳出計		12,299	13,890	12,491			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	2,050	3,270	2,490	3,069		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	2,050	3,270	2,490	3,069		
一般財源		10,249	10,620	7,918	10,702		

5. 総括的分析

総括的分析	施設保全や保守点検を適切に行った結果、施設の不備等による事故件数も0件であった。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き保全計画等に基づき、効果的・効率的な事業実施ができるよう適時モニタリングを実施し、適切に施設の維持管理を行っていく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	枚方市スポーツ協会加盟団体活動補助事業												
測定年度	2020(R2)年度			部	観光にぎわい部				課	スポーツ振興課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4					
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち											
	施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち											
	実行計画名	17-2.全ての市民のスポーツの普及と推進											

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	不明		年度	~	年度まで
根拠法令等	枚方市スポーツ推進計画、枚方市補助金等交付規則、決裁				
関係補助金名称	体育団体活動補助金	サンセット	2017(H29)年度	~	2019(R1)年度
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	公益財団法人枚方体育協会の各加盟団体に所属する人			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	大会の開催や市民を対象とした講習会・体験イベントなどスポーツに親しむことができる環境が求められている。また、競技普及の機会が不足している。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	団体独自の大会が多く開催されることで、競技者が目標を持って競技に取り組むことができ、競技力が向上していく状態。また、講習会・イベントを実施することで団体登録者や大会参加者増加につながり、各団体の活動が活発になることで市民にとっても年齢や興味または関心に応じた種目を選択し、生涯にわたってスポーツに親しむ環境が充実している状態。				
事業概要	市民のスポーツ活動の振興を図るため、公益財団法人枚方体育協会に加盟する団体に補助金を交付し、活動の補助を行うことを目的として、スポーツ振興を進めるうえで、公益財団法人枚方体育協会に加盟する各団体の活動に対して、毎年補助金の支出を行っている。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)	
	競技者が目標を持って競技に取り組み、競技力が向上する。	団体主催のスポーツ教室を開催するなど、活動が活性化する。	事業を行う加盟団体に補助金を交付し、活動の補助する。	
指標設定	指標説明	令和元年度を基準とした参加者数増減率	加盟団体主催・主管のスポーツ教室実施回数	補助金交付団体数
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標
	指標数値	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5
	目標 (見込み)	0 ▲ 1.50 ▲ 3 ▲ 4.50	27 27 27 27	27 27 27 27
	実績	▲ 77	27	27
	達成度	23%	174%	100%
分析	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、春季総合体育大会が中止となり、秋季総合体育大会のみの参加者数の実績となった。	大会等は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、相次ぎ中止となり、スポーツ教室は人数を制限したが、目標値を達成できた。	昨年度と同様の団体数であった。	

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.10
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	1,590	802	798	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	1,590	802	798	
	物件費計	700	70	615	700	88%
	歳出計	2,290	872	1,413		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
一般財源		2,290	872	615	700	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、団体独自の大会が相次ぎ中止となったが、各団体のスポーツ教室を47回実施することにより、競技力の向上へつながった。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、対象事業を明確にした上で公益財団法人枚方スポーツ協会に加盟する各団体の活動に対して補助を行い、各団体の活動活発化を図る。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	民間スポーツ施設開放事業													
測定年度	2020(R2)年度				部	観光にぎわい部				課	スポーツ振興課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち											
	施策目標		17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち											
	実行計画名		17-2.全ての市民のスポーツの普及と推進											
1. 事務事業の概要														
種類	市民サービス			特性	選択的事業				区分	一般事務事業				
事業期間	1988(S63)年度				年度	~			年度まで					
根拠法令等	民間施設等活用推進実施要綱、決裁													
関係補助金名称								サンセット	~					
関係附属機関名称														
事業対象	メインターゲット		開放する民間体育施設の利用者											
	サブターゲット													
	ターゲットが抱える課題		日常的にスポーツを楽しめる場が不足している。											
	ターゲットが抱える課題													
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	公共のスポーツ施設と合わせて利用されることにより、より多くの市民にスポーツ活動の場を提供でき、市民の体力向上や健康増進につながった状態。													
事業概要	企業等の協力のもとに、提供可能なスポーツ施設を広く市民に開放することにより、スポーツ活動の場の充実を図る。													
2. ロジックモデル及び指標設定														
ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
	公共のスポーツ施設の利用状況が緩和し、安全かつ快適な利用環境が整う。				立地や設備なども踏まえ、スポーツを好む市民が民間体育施設を利用する。				民間スポーツ施設を市民に開放する。					
指標設定	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
	令和元年度を基準とした申込件数の増減率				開放件数				協力企業数					
	単位				単位				単位					
	%				件				企業					
	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標種類	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
	指標数値	▲ 0.50	▲ 1	▲ 1.50	▲ 2	700	700	700	700	4	4	4	4	
実績	▲ 48				1,111				4					
達成度	52%				159%				100%					
分析	新型コロナウイルスにより施設を閉鎖したことにより申込件数が減少となった。				令和元年度(1111件)、令和2年度(2103件)であり、目標値を達成した。				昨年度同様の企業数となった。					

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.10
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.05
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	795	802	798	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	795	802	798	
	物件費計	5,867	6,027	5,542	6,259	89%
歳出計		6,662	6,829	6,340		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
一般財源		6,662	6,829	5,542	6,259	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、民間施設の開放が中止となっていたことから、開放件数・申込件数ともに令和元年度より減少した
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	各企業協力のもと、引き続き民間体育施設の開放を行い、市民のスポーツ活動場所の確保を行う。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	野外活動センター維持管理事業										
測定年度	2020(R2)年度			部	観光にぎわい部			課	スポーツ振興課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4			
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち									
	施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	1970(S45)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	スポーツ基本法、枚方市野外活動センター条例、枚方市野外活動センター条例施行規則、枚方市野外活動センター使用料に関する規則				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	野外活動センターの利用者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	野外活動センターの利用者が安全に利用できるよう整備されることが求められている。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	必要な施設保全や保守点検が行われ、利用者が安心安全快適に施設を利用できる状態。				
事業概要	野外活動センターを維持管理し、市民の余暇の活用と青少年の健全育成を図ることを目的に、平成21年度からは閑散期の施設運営や所内各施設の老朽化に伴う整備、進入路整備などの諸課題を市で整理するために、直営で管理運営を実施している。各種キャンプ教室や天体観測棟(ステラホール)を活用した天文教室、竹のクラフトなどの主催事業を実施し、市民の余暇活動や自然と触れ合う機会を提供している。直営で管理運営するにあたり、施設使用の受付業務やキャンプカウンセラーに関する業務、主催事業実施については、公益財団法人枚方体育協会に委託し実施している。				

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル						野外活動センターが適正に維持管理される。				必要な施設保全や保守点検を行う。			
指標設定	指標説明					施設の不備等による事故件数				施設保全や保守点検に関する対応予定件数			
	指標種類	単位				単位 件				単位 件			
	指標数値	R2 R3 R4 R5				減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	目標(見込み)	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績					0	0	0	0	18	18	18	18
	達成度					100%				89%			
分析					適切に保守点検等を行ったことから、施設の不備等事故件数は0件であった。				保全計画等に基づき、実施した。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.90
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.85
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の person 費については、人員配置をもとに平均 person 費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「person 費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員 person 費」「臨時職員 person 費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は person 費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	8,519	4,662	5,322		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	3,653	2,531	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	12,172	7,193	5,322		
	物件費計	102,222	86,809	53,904	63,860	84%	
	歳出計	114,394	94,002	59,226			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	8,457	7,033	2,817	2,930		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	850	844		
	歳入計	8,457	7,033	3,667	3,774		
	一般財源	105,937	86,969	50,237	60,086		

5. 総括的分析

総括的分析	施設保全や保守点検を適切に行った結果、施設の不備等による事故件数も0件となった。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	見直し
今後の取組方針	引き続き保全計画等に基づき、効果的・効率的な事業実施ができるよう適時モニタリングを実施し、適切に施設の維持管理を行っていく。併せて、随意契約している現行制度を見直し、民間の発想を生かした効率的・効果的な施設運営を目指す。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	市民スポーツ応援サポート事業補助事業												
測定年度	2020(R2)年度				部	観光にぎわい部				課	スポーツ振興課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4					
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち										
	施策目標		17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち										
	実行計画名		17-2.全ての市民のスポーツの普及と推進										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業	
事業期間	不明		年度	~	年度まで	
根拠法令等	枚方市スポーツ推進計画、枚方市補助金等交付規則、決裁					
関係補助金名称			サンセット	2018(H30)年度	~	2020(R2)年度
関係附属機関名称						
事業対象	メインターゲット	公益財団法人枚方体育協会				
	サブターゲット	公益財団法人枚方体育協会各事業への参加者				
	ターゲットが抱える課題	公益財団法人枚方体育協会の目的達成に向けた事業を十分な規模、内容で実施することができない。				
	ターゲットが抱える課題					
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	公益財団法人枚方体育協会が各種事業を実施することにより、「見る」「する」「支える」の各分野で市民のスポーツ参加機会の拡充、多様なスポーツニーズへの対応等が十分に行われている状態。					
事業概要	<p>◎全国大会応援事業 枚方市が世界大会や全国大会出場する選手や団体の応援を行う際や、優勝セレモニーや報告会等を実施する際にサポートを行うとともに、枚方市が連携するスポーツ団体の市民応援事業の募集や受付を実施するなど、市民へ広く情報提供を行う。また、優秀選手や団体の情報収集やセレモニー実施に向けての連絡調整を行う。</p> <p>◎スポーツ情報提供事業 ホームページやSNSにおいて情報発信するために、情報内容や企画、広報、情報提供を行い、継続的にスポーツの普及・啓発を推進する。また、スポーツ図書やスポーツビデオ・DVDの貸出を無料で行う。</p>					

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
	多様なスポーツニーズへの対応により、スポーツ参加機会が拡充されている。	体育協会が各事業を十分な規模、内容で実施するなど、活動が活性化する。				事業を行う体育協会に補助金を交付し、活動を補助する。							
指標設定	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
	指標説明	市の広報またはSNSに掲載された市長表敬及び全国大会応援事業関連記事の数				市長表敬調整及び全国大会応援事業の実施回数				補助金に係る当初予算額に対する決算額の割合【決算額/当初予算額×100】			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	20	20	20	20	20	20	20	20	100	100	100	100
	実績	7				9				97			
達成度	35%				45%				97%				
分析	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、大会等が中止となったため、市長表敬及び全国大会応援事業関連記事数も減少した。				新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、大会等が中止となったため、市長表敬及び全国大会応援事業の実施回数も減少した。				補助対象事業に対して、補助金を交付した。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.10
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	—	401	798	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	—	0	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	—	401	798	
	物件費計	—	3,242	1,935	1,995	97%
	歳出計	—	3,643	2,733		
歳入	国庫支出金	—	0	0	0	
	府支出金	—	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	—	0	0	0	
	市債	—	0	0	0	
	その他	—	0	0	0	
	歳入計	—	0	0	0	
	一般財源	—	3,643	1,935	1,995	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、全国大会等が中止となり、実施回数は減少したが、市長表敬等を市の広報またはSNSにて発信することで、市民のスポーツへの関心を高めた。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	全国大会等で活躍する市民の情報を発信することで、市民のスポーツへの関心を高め、より多くの市民に参加機会を提供することができるため、継続して補助金の交付を行う。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	地域・競技スポーツコンサルティング事業補助事業														
測定年度	2020(R2)年度				部	観光にぎわい部				課	スポーツ振興課				
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4							
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち												
	施策目標		17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち												
	実行計画名		17-2.全ての市民のスポーツの普及と推進												
1. 事務事業の概要															
種類	市民サービス			特性	選択的事業				区分	一般事務事業					
事業期間	不明			年度	~				年度まで						
根拠法令等	枚方市スポーツ推進計画、枚方市補助金等交付規則、決裁														
関係補助金名称								サンセット	2018(H30)年度		~			2020(R2)年度	
関係附属機関名称															
事業対象	メインターゲット		公益財団法人枚方体育協会												
	サブターゲット		公益財団法人枚方体育協会各事業への参加者												
	ターゲットが抱える課題		公益財団法人枚方体育協会の目的達成に向けた事業を十分な規模、内容で実施することができない。												
	ターゲットが抱える課題														
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	公益財団法人枚方体育協会が各種事業を実施することにより、「見る」「する」「支える」の各分野で市民のスポーツ参加機会の拡充、多様なスポーツニーズへの対応等が十分に行われている状態。														
事業概要	市民のスポーツ活動の振興を図るため、公益財団法人枚方市スポーツ協会が実施する下記事業に補助金を支出し、活動の補助を行う。 ◎地域スポーツ・競技スポーツコンサルティング事業 地域(PTA等)や障害者団体のスポーツイベント開催に際し、専門的な知識を活かして企画・運営のコーディネートを行うとともに、ノウハウを持ったスタッフをスポーツボランティアとして派遣するなど、地域スポーツを総合的にコンサルティングする。 また、市等が行う健康増進イベントへも企画提案や支援を行うほか、ニュースポーツの普及や指導者育成に関する助言も行う。														
2. ロジックモデル及び指標設定															
ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)						
	多様なスポーツニーズへの対応により、スポーツ参加機会が拡充されている。				体育協会が各事業を十分な規模、内容で実施し、地域住民がイベントに参加する。				事業を行う体育協会に補助金を交付し、活動を補助する。						
指標設定	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)						
	令和元年度を基準とした参加者の増減率				誰もが障害者とともに参加できるスポーツイベントの参加者数				補助金に係る当初予算額に対する決算額の割合【決算額/当初予算額×100】						
	指標説明		単位	%	単位		人	単位		%					
	指標種類		増加することが良いとされる指標		増加することが良いとされる指標		増加することが良いとされる指標								
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
		目標 (見込み)	1	2	3	4	2,150	2,170	2,190	2,210	100	100	100	100	
	実績		0				0				90				
達成度		0%				0%				90%					
分析		新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、多くのイベント等が中止となった。				新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、多くのイベント等が中止となった。				事業計画に基づいた補助対象事業に対して、補助金の交付を行った。					

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.10
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	—	401	798	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	—	0	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	—	401	798	
	物件費計	—	2,527	2,756	3,074	90%
	歳出計	—	2,928	3,554		
歳入	国庫支出金	—	0	0	0	
	府支出金	—	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	—	0	0	0	
	市債	—	0	0	0	
	その他	—	0	0	0	
	歳入計	—	0	0	0	
	一般財源	—	2,928	2,756	3,074	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、交流大会やイベントが中止となったが、次年度に向けてスポーツの普及や団体の育成、支援などを目的に地域高齢者団体などと普及や支援について検討した。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	市民のライフステージに応じたスポーツ機会を地域・団体ごとに実現するために、民間企業ではできない支援ができており、市民の健康づくりに寄与する取り組みであることから、継続して補助金の交付を行う。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	スポーツサポーターズバンク事業補助事業											
測定年度	2020(R2)年度			部	観光にぎわい部			課	スポーツ振興課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4				
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち										
	施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち										
	実行計画名	17-2.全ての市民のスポーツの普及と推進										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業		
事業期間	不明		年度	~	年度まで		
根拠法令等	枚方市スポーツ推進計画、枚方市補助金等交付規則、決裁						
関係補助金名称	スポーツサポーターズバンク事業補助金			サンセット	2018(H30)年度	~	2020(R2)年度
関係附属機関名称							
事業対象	メインターゲット	公益財団法人枚方体育協会					
	サブターゲット	公益財団法人枚方体育協会各事業への参加者					
	ターゲットが抱える課題	公益財団法人枚方体育協会の目的達成に向けた事業を十分な規模、内容で実施することができない。					
	ターゲットが抱える課題						
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	公益財団法人枚方体育協会が各種事業を実施することにより、市民の中から発掘・育成された指導者や支援者が様々な活動に派遣されて活躍することで、指導者・支援者の活躍する場が広がり、指導・支援を受けることにより市民のスポーツに触れる機会が増えている状態。						
事業概要	市民のスポーツ活動の振興を図るため、公益財団法人枚方市スポーツ協会が実施する下記事業に補助金を支出し、活動の補助を行う。スポーツサポーターズバンク事業として、指導者や支援者の育成に係る講習会を実施。育成した指導者や支援者に定期的に指導方法のフォローアップ研修を行い指導者や支援者の資質向上に努める。 また、市民のニーズに合わせ指導者を派遣するとともに、中学校部活動などへ指導者の派遣や支援を行い、主にスポーツリーダー(支援者)育成やスポーツインストラクター(指導者)育成、スポーツ指導者・支援者フォローアップ、スポーツ指導者派遣事業などを行う。						

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)	
	発掘・育成された指導者や支援者が様々な活動に派遣され、活躍する。	体育協会が各事業を十分な規模、内容で実施し、指導者や支援者を発掘・育成する。	事業を行う体育協会に補助金を交付し、活動を補助する。	
指標設定	指標説明	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)
	令和元年度を基準とした養成講座参加者の増減率	各事業実施回数	補助金に係る当初予算額に対する決算額の割合【決算額/当初予算額×100】	
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標
	指標数値	単位 %	単位 回	単位 %
	目標(見込み)	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5
	実績	▲ 30	36	94
達成度	70%	60%	94%	
分析	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、オンラインでの講座等も実施することにより、参加者が目標値を上回った。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、教室事業等が中止となったことから、派遣事業実施数が目標値を達しなかった。	事業計画に基づいた補助対象事業に対して、補助金の交付を行った。	

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.10
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	—	802	798	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	—	0	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	—	802	798	
	物件費計	—	5,093	5,280	5,612	94%
	歳出計	—	5,895	6,078		
歳入	国庫支出金	—	0	0	0	
	府支出金	—	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	—	0	0	0	
	市債	—	0	0	0	
	その他	—	0	0	0	
	歳入計	—	0	0	0	
	一般財源	—	5,895	5,280	5,612	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、派遣事業実施数は減ったが、養成講座についてはオンラインでの実施も行うことで、参加者数が令和2年度は、令和元年度より2割増となり、指導者・支援者の発掘・育成された。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	地域の人材育成に資する事業でもあり、スポーツニーズを満たす事業として、継続して補助金の交付を行う。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	健康スポーツ普及事業補助事業												
測定年度	2020(R2)年度				部	観光にぎわい部				課	スポーツ振興課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4					
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち										
	施策目標		17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち										
	実行計画名		17-2.全ての市民のスポーツの普及と推進										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業	
事業期間	不明		年度	~	年度まで	
根拠法令等	枚方市スポーツ推進計画、枚方市補助金等交付規則、決裁					
関係補助金名称	健康スポーツ普及事業補助金		サンセット	2018(H30)年度	~	2020(R2)年度
関係附属機関名称						
事業対象	メインターゲット	公益財団法人枚方体育協会				
	サブターゲット	公益財団法人枚方体育協会各事業への参加者				
	ターゲットが抱える課題	公益財団法人枚方体育協会の目的達成に向けた事業を十分な規模、内容で実施することができない。				
	ターゲットが抱える課題					
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	公益財団法人枚方体育協会が各種事業を実施することにより、「見る」「する」「支える」の各分野で市民のスポーツ参加機会の拡充、多様なスポーツニーズへの対応等が十分に行われている状態。					
事業概要	市民のスポーツ活動の振興を図るため、公益財団法人枚方市スポーツ協会が実施する下記事業に補助金を支出し、活動の補助を行う。健康スポーツ普及事業として、健康増進や高齢者の介護予防の取り組みとして、地域展開における楽10体操やボディバランスチェック体験、朝活ストレッチ教室などの事業を実施。加盟団体による競技スポーツの普及振興を図るため、スポーツ教室を実施するとともに、専門委員会を組織し、スポーツ教室事業の内容等を検討し、ニーズに即した展開を実施していく。また、枚方市内の企業への健康経営の取り組みとしてオーダーメイドプログラム(健康パッケージ)の提供を行っていくことで、枚方市の健康増進を進める。					

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
	各々のニーズに応じた事業に参加し、健康増進や高齢者介護予防のきっかけとする。	体育協会が各事業を十分な規模、内容で実施し、スポーツ体験を通じた啓発、知識の普及等を行う。				事業を行う体育協会に補助金を交付し、活動を補助する。						
指標説明	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
	令和元年度を基準とした参加者数増減率				各事業参加者数				補助金に係る当初予算額に対する決算額の割合【決算額/当初予算額×100】			
指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	単位	%			単位	人			単位	%		
指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	1	2	3	4	8,000	8,080	8,160	8,240	100	100	100
実績	▲ 27				3,960				98			
達成度	73%				50%				98%			
分析	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、定期講習会の中止などがあり、令和元年度より参加者数が減少となった。				新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、定期講習会の中止などがあり、目標値に達しなかった。なお、新たな取り組みとしてSNSによる運動動画配信を行ったが、再生回数は参加者数に含めていない。				事業計画に基づいた補助対象事業に対して、補助金の交付を行った。			

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.10
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	—	802	798	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	—	0	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	—	802	798	
	物件費計	—	12,028	12,704	13,015	98%
	歳出計	—	12,830	13,502		
歳入	国庫支出金	—	0	0	0	
	府支出金	—	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	—	0	0	0	
	市債	—	0	0	0	
	その他	—	0	0	0	
	歳入計	—	0	0	0	
	一般財源	—	12,830	12,704	13,015	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、定期講習会等が中止となったが、新規取り組みとして楽10体操DVD配布やSNSを活用しスポーツ活動や運動動画配信を行い、スポーツの普及を行った。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	<p>今後は、オンラインを通じてスポーツに触れる機会を創出するなど、事業実施内容についても検討が必要である。年間を通じた教室で市民の健康増進に貢献し、健康経営に向けた企業への指導者派遣事業についても多くの実績を持っていることから、枚方市内でもスポーツ普及のためにより細やかなニーズに対応した事業展開を可能とするため、継続して補助金の交付を行う。</p>

事務事業実績測定調査

事務事業名称	市民オリンピック事業補助事業												
測定年度	2020(R2)年度				部	観光にぎわい部				課	スポーツ振興課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4					
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち										
	施策目標		17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち										
	実行計画名		17-2.全ての市民のスポーツの普及と推進										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業	
事業期間	不明		年度	~	年度まで	
根拠法令等	枚方市スポーツ推進計画、枚方市補助金等交付規則、決裁					
関係補助金名称	市民オリンピック事業補助金		サンセット	2018(H30)年度	~	2020(R2)年度
関係附属機関名称						
事業対象	メインターゲット	公益財団法人枚方体育協会				
	サブターゲット	公益財団法人枚方体育協会各事業への参加者				
	ターゲットが抱える課題	公益財団法人枚方体育協会の目的達成に向けた事業を十分な規模、内容で実施することができない。				
	ターゲットが抱える課題					
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	公益財団法人枚方体育協会が市民オリンピックを実施することで、参加者がイベントをきっかけに、オリンピック等大規模な大会終了後も継続して様々なスポーツ活動に取り組む状態。					
事業概要	市民のスポーツ活動の振興を図るため、公益財団法人枚方市スポーツ協会が実施する下記事業に補助金を支出し、活動の補助を行う。市民オリンピック事業として、東京2020オリンピック・パラリンピックの啓発事業である「ひらかた市民オリンピック」を開催。現在は小学生を中心に大人の方も参加する運動会形式で実施しており、東京2020オリンピック終了後も、スポーツ熱を継続していけるように、より多くの市民の皆さんが参加できるイベントを企画し、事業を継続していく。					

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
ロジックモデル		イベントを様々なスポーツ活動に継続的に取り組むきっかけとする。				体育協会により十分な規模・内容のイベントが実施され、多くの世代が参加する。				事業を行う体育協会に補助金を交付し、活動を補助する。				
指標設定	指標説明	令和元年度を基準とした参加者数増減率				参加者数				補助金に係る当初予算額に対する決算額の割合【決算額/当初予算額×100】				
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	目標(見込み)	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		実績	0	0	0	0	240	240	240	240	100	100	100	100
	達成度	0%				0%				88%				
	分析	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、市民オリンピックイベントが中止となった。				新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、市民オリンピックイベントが中止となった。				補助金対象事業に対して、補助金の交付を行った。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.10
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	—	802	798	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	—	0	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	—	802	798	
	物件費計	—	998	1,097	1,245	88%
	歳出計	—	1,800	1,895		
歳入	国庫支出金	—	0	0	0	
	府支出金	—	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	—	0	0	0	
	市債	—	0	0	0	
	その他	—	0	0	0	
	歳入計	—	0	0	0	
	一般財源	—	1,800	1,097	1,245	

5. 総括的分析

総括的分析	東京2020オリンピック・パラリンピックの啓発事業として実施予定であった「市民オリンピック」は、東京2020オリンピック・パラリンピックの延期にともない中止となったが、動画配信を行った。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	東京2020オリンピック・パラリンピックの啓発事業として、子どもが参加できるイベントに対して、補助金の交付を行う。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	新春走ろうかい事業補助事業												
測定年度	2020(R2)年度				部	観光にぎわい部				課	スポーツ振興課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4					
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち										
	施策目標		17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち										
	実行計画名		17-2.全ての市民のスポーツの普及と推進										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業	
事業期間	不明		年度	~	年度まで	
根拠法令等	枚方市スポーツ推進計画、枚方市補助金等交付規則、決裁					
関係補助金名称	新春走ろうかい事業補助金		サンセット	2018(H30)年度	~	2020(R2)年度
関係附属機関名称						
事業対象	メインターゲット	公益財団法人枚方体育協会				
	サブターゲット	公益財団法人枚方体育協会各事業への参加者				
	ターゲットが抱える課題	公益財団法人枚方体育協会の目的達成に向けた事業を十分な規模、内容で実施することができない。				
	ターゲットが抱える課題					
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	公益財団法人枚方体育協会が年代や距離に応じて気軽に参加できる新春走ろうかいを実施することで、大会参加者が健康増進や体力づくりにつなげている状態。					
事業概要	市民のスポーツ活動の振興を図るため、公益財団法人枚方体育協会が実施する下記事業に補助金を支出し、活動の補助を行う。新春走ろうかい事業として、昭和52年から毎年成人の日に開催。淀川河川敷において気軽に走れる2kmのジョギングの部から本格的なハーフマラソンまで26種別あり、年代や距離に応じて誰もが気軽に参加できるマラソン事業で、毎年全国各地から約4,000人のランナーが参加している。					

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
	年代や距離に応じて誰もが気軽に参加でき、健康増進のきっかけになる。	体育協会により十分な規模・内容のイベントが実施され、多くの世代が参加する。				事業を行う体育協会に補助金を交付し、活動を補助する。							
指標説明	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
	令和元年度を基準とした参加者数増減率				参加者数				補助金に係る当初予算額に対する決算額の割合【決算額/当初予算額×100】				
指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
指標数値	目標 (見込み)	0	0	0	0	4,000	4,000	4,000	4,000	100	100	100	100
	実績	▲ 85				755				92			
達成度	15%				19%				92%				
分析	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、オンラインでの実施となった。				新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、オンラインでの実施となったが、初めての試みということもあり、当初目標とした参加者数には達しなかった。				補助対象事業に対して、補助金の交付を行った。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.10
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	—	802	798	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	—	0	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	—	802	798	
	物件費計	—	8,113	8,172	8,883	92%
	歳出計	—	8,915	8,970		
歳入	国庫支出金	—	0	0	0	
	府支出金	—	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	—	0	0	0	
	市債	—	0	0	0	
	その他	—	0	0	0	
	歳入計	—	0	0	0	
	一般財源	—	8,915	8,172	8,883	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、初めてのオンライン実施の試みということもあり、参加者は目標値に達することができなかった。オンラインだけでなく、実際の開催と合わせたハイブリット形式にするなど課題が抽出された。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	市内、市外を問わず誰でも参加できることから、公益性、公共性が高く、市民が健康に関心を持つきっかけとなる事業であり、オンライン開催も含めて実施手法を再度検討し、継続した事業運営を行えるようにするため、補助金を支出する。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	オリンピック・パラリンピック関連事業(スポーツ振興課)										
測定年度	2020(R2)年度			部	観光にぎわい部			課	スポーツ振興課		
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4			
総合計画体系	基本目標	3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち									
	施策目標	17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2020(R2)年度		年度	~	2021(R3)年度
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称					サンセット
関係附属機関名称					

事業対象	メインターゲット	これからスポーツに興味を持つまたは現在継続的にスポーツを実施している市民。
	サブターゲット	聖火リレーにランナーとして応募した市民
	ターゲットが抱える課題	日本で開催される国際的なスポーツイベントを身近に感じられる機会が不足し、スポーツ活動が活発にならない。
	ターゲットが抱える課題	

めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	オリンピック・パラリンピックを地元で身近に楽しむことができ、事業をきっかけとして市民の関心が高まり、体力向上や健康増進の取り組みを実施、継続している状態。
-----------------------	---

事業概要	新型コロナウイルス感染症拡大により、2020年4月14日に枚方市にて実施される予定であった聖火リレーが延期となった。その後、2021年10月に改めて聖火リレーが実施されることが決定し、日程については1日前倒しされ4月13日に実施されることとなった。走行ルート等については基本的に前回予定されていた内容が引き継がれるものの、感染症拡大防止のための対策が追加されることが予想される。2020年10月時点では組織委員会からのガイドライン等が示されていないため具体的な方針は未定である。
------	---

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
ロジックモデル		参加者のスポーツへの関心が高まる				各イベントに参加者が集まる				聖火リレー、コミュニティライブサイト等を実施する			
指標説明		コミュニティライブサイト参加者の満足度【算出:アンケートで「満足」「やや満足」と回答する方/アンケート回答者全体の割合】				コミュニティライブサイトの参加者数				オリンピック・パラリンピック関係イベントの実施日数			
指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
指標設定	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	80	—	—	—	1,500	—	—	—	3	—	—	—
実績		0				0				0			
達成度		0%				0%				0%			
分析		新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、オリンピック・パラリンピックの延期にともない、コミュニティライブサイトの実施を延期した。				新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、オリンピック・パラリンピックの延期にともない、コミュニティライブサイトの実施を延期した。				新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、オリンピック・パラリンピックの延期にともない、コミュニティライブサイトの実施を延期した。			

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.60
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の person 費については、人員配置をもとに平均 person 費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「person 費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員 person 費」「臨時職員 person 費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は person 費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	—	—	4,167	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	—	—	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	—	—	4,167	
	物件費計	—	—	4,731	5,718	83%
	歳出計	—	—	8,898		
歳入	国庫支出金	—	—	0	0	
	府支出金	—	—	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	—	—	0	0	
	市債	—	—	0	0	
	その他	—	—	0	0	
	歳入計	—	—	0	0	
	一般財源	—	—	4,731	5,718	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、オリンピック・パラリンピックが延期となったため、オリンピック・パラリンピック関連事業も延期とした。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	オリンピック・パラリンピック実施に向けて、関連事業を実施し、多くの市民にとって健康スポーツの一助となることから、継続実施を検討する。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	スポーツ振興課運営事務												
測定年度	2020(R2)年度			部	観光にぎわい部				課	スポーツ振興課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標			9.施策体系外									
	施策目標			99.施策体系外									
	実行計画名												

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務		区分	庶務的内部管理事務						
事業期間	不明			年度	~		年度まで					
根拠法令等	決裁											
関係補助金名称							サンセット	~				
関係附属機関名称												
事業対象	メインターゲット	スポーツ振興課職員										
	サブターゲット											
	ターゲットが抱える課題	所管事務を効率的かつ効果的に執行すること。										
	ターゲットが抱える課題											
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	各業務の点検・評価を行うことで、所管事務に関する手法改善を随時行い、業務を円滑に遂行できる。											
事業概要	課の運営事務											

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)					インプット (活動)				
指標設定	指標説明														
	指標種類	単位					単位					単位			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
		目標 (見込み)													
	実績														
	達成度														
	分析														

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.40
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.05
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	3,180	3,207	3,190		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	92	100	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	3,272	3,307	3,190		
	物件費計	2,091	843	2,076	897	231%	
	歳出計	5,363	4,150	5,266			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	0	0	0	0		
	一般財源	5,363	4,150	2,076	897		

5. 総括的分析

総括的分析	【スポーツ振興課運営事務】市議会関係、行政評価関係、車両管理関係 【スポーツ振興課内庶務事務】予算・決算関係事務、物品購入及び契約事務関係、文書関係事務、職員の服務・給与・休暇に関する事務 【その他】AED関係等
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	課所管事務の適正な執行に向けて、各課庶務関連事務を正確かつ適正に実行する。